

平成30年度 神戸大学法学部編入学試験問題

平成29年10月14日実施

論文（法学概論）

問1

かつて法学者の川島武宜は、“法律を作っても、それが現実に行われるだけの地盤が社会の中になく場合には、法律というものは現実にはわずかしか、時には全く、「行なわれない」——社会生活を規制するという機能を果たさない——のである。また法律が「行われる」にしても、どういうふうに行なわれるかということは、これまたその社会の地盤と関係があるのである”、と指摘していた（『日本人の法意識』岩波書店、1967年）。以上のことについて、諸君の考えを、具体例を挙げつつ、述べなさい。

問2

不法行為と犯罪との関係について、具体例を挙げ、なおかつ下記の語の全てを用いて論じなさい。下記の語を用いる順番は任意でよい。

損害賠償、公益の実現、慰謝料、懲罰的損害賠償制度